

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（2日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新城市	代表者名	下江洋行
担当者部署	企画部情報政策課	連絡先電話番号	0536-23-7672
担当者役職	係長	担当者氏名	斎藤 慎介
住所	441-1392 愛知県新城市字東入船115番地		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	講演内容について、こちらの要望を丁寧に確認いただき、大変分かりやすい内容でご講演いただいた。
アドバイザー への要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月8日	8時30分	12時10分	10	210
3-2. 派遣場所	会場名	新城市役所		最寄駅	新城駅
	所在地	愛知県新城市字東入船115番地		最寄駅からの交通手段	同上
	派遣形態	講演（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	396 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 （具体的にご記入下さい）	DXの推進には全庁的な機運の醸成が不可欠であるが、その方策について苦慮している状況である。職員一人ひとりが「自分の事」としてDXの推進に取り組んでいくよう個々の意識が必要であるが、現状では職員のDXに対する理解度も低く、そのような状況に至っていない。11月より市長が変わり新たな執行部体制となったことにより、新たな方針で自治体DXに取り組んでいく必要がある。	
支援により目指す成果 （具体的にご記入下さい）	DXを推進していくための意識啓発と機運を醸成するきっかけとする。	
アドバイザーに支援を受けた内容 （具体的にご記入下さい）	DXの基礎知識や取り組むべき事項などについて、それぞれの立場に応じた役割を理解し、DX推進の機運を醸成するための講演の実施。	
支援を受け改善又は解決された内容 （具体的にご記入下さい）	コロナウイルス感染症の影響により今回は無観客での開催となったが、撮影した講演の動画を今後全職員向けに展開することで、DXは全職員一丸となって取り組むべき事項であることを認識することができると感じている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	DXを推進していくための機運を醸成できた。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当初予定していた内容を変更して実施したため、アンケートの実施についても省略することとした。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	職員一人ひとりが自分の仕事との認識をもって自治体DXに取り組んでいく意識が醸成されている

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

